

飛驒・高山観光コンベンション協会 会報

飛驒高山の四季

題字 高山市名誉市民 平田吉郎 元高山市長

飛驒高山の旧城下町を 世界文化遺産に

— 一次の、次の次の世代のために —



第9回飛驒高山フォトコンテスト高山市長賞作品「まちなみ」荒井あこさん (岐阜県)

新年明けましておめでとうございます。會員の皆様には、ご家族お揃いで新年をこ健勝でお迎えのこととお慶び申し上げます。皆様には、この3年間必死にコロナ感染症対策を講じられ、大変厳しい状況の中、地域経済の安定の為積極的な事業活動を推進され、また、事業継続等にご尽力いただいたことに敬意と感謝を表したいと思います。



新年明けましておめでとうございます。會員の皆様には、ご家族お揃いで新年をこ健勝でお迎えのこととお慶び申し上げます。皆様には、この3年間必死にコロナ感染症対策を講じられ、大変厳しい状況の中、地域経済の安定の為積極的な事業活動を推進され、また、事業継続等にご尽力いただいたことに敬意と感謝を表したいと思います。

新年明けましておめでとうございます。會員の皆様には、ご家族お揃いで新年をこ健勝でお迎えのこととお慶び申し上げます。皆様には、この3年間必死にコロナ感染症対策を講じられ、大変厳しい状況の中、地域経済の安定の為積極的な事業活動を推進され、また、事業継続等にご尽力いただいたことに敬意と感謝を表したいと思います。

誘客事業については、官民一体の取り組みの中SNS活用に重点を置きながら情報発信に力を入れ、飛驒高山観光公式ホームページの充実を図るとともに、メディア・雑誌・交通広告を実施し、特にリピーター客の多い中京圏を始め、首都圏、これから来訪者の増加が期待される関西圏を中心に展開しております。デジタル技術の普及の中広告宣伝の方法も大きく変化しており、情報発信は個人が直接できる時代となりましたので、會員の皆さんには是非飛驒高山情報サイトへのアクセス強化を図るため「#飛驒高山」のハッシュタグを付け様々な情報を発信していただきたいと思っております。

一方、高山市を取り巻く道路整備等は、着々と進み中部縦貫自動車道高山インターから丹生川インター(仮称)間の工事、福井県側の工事も急ピッチで進み、令和8年(2026年)の全線開通により「永平寺」「恐竜博物館」「一乗谷朝倉氏遺跡」「越前ガニ」等の観光資源が身近なものとなり「飛驒牛等」の山のものとの海のものとコラボによる旅行の楽しみが増えるとともに、北陸新幹線の敦賀までの延伸と相まって飛驒高山を起点(ハブ)とした新たな観光ルートの構築に経済界特に観光事業者として大いに期待が持てるところであります。

当協会は、こうした変化に対応する力を養いこれからの「高山のまちづくり」を会員お一人お一人に考えてもらい共に行動しなければならぬと思います。当協会に寄せられる期待は、今まで以上に大きく引き続き地域活性化に寄与すべくその役割を積極的に果たさなければなりません。

今年も皆様のご協力、お力添えをお願いするとともに本年が皆様やご家族様にとって更に良き年でありますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。

年頭のごあいさつ

高山市長 田中 明



令和6年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

日ごろ、飛驒・高山観光コンベンション協会役員並びに会員の皆様には、観光事業の推進などを通じて、地域経済の発展や活力ある地域づくりに多大なるご尽力をいただいておりますことに、深く敬意と感謝の意を表します。

さて、我が国の経済状況は、長期にわたるコロナ禍やウクライナ情勢、円安、物価高騰などの影響により厳しい状況が続いています。一方、地方公共団体においても、人口減少や少子高齢化などが進行する中、持続可能な地域づくりに向け、地方独自の創意工夫が求められています。

本市においては、新型コロナウイルス感染症の規制緩和と同時に国内外のお客様が急速に回復し、街中ではコロナ禍前の活気に戻りつつあります。新型コロナウイルス感染症流行時に古い町並に誰一人いかなかった光景を目の当たりにし、この先の高山市の行く末を案じたことを思い起こし

つつ、今、このような賑わいが戻っていることは、ひとえに、半世紀以上にわたり受け継がれてきた地域一体となつたまちづくりの取り組みの成果であり、皆様のおもてなしの賜物であると改めて感謝申し上げます。

現在、本市では、先人たちの努力により脈々と受け継がれてきた飛驒高山の歴史や文化、自然を市民一人ひとりが享受するとともに、裾野が広く、地域の人材・資源・産業を有効に活用できる観光の特徴を活かした地域づくりを発展させることで、国内外から選ばれ続ける、住んでよし、訪れてよしの「国際観光都市 飛驒高山」の実現を目指し、観光を活用した持続可能な地域づくりに取り組むこととしています。これまで築き上げられてきた本市の観光によるまちづくりの手法を活用し、様々な産業・地域・人を繋ぎ、相互の活動等への参加を促し、役割分担を明確化することで、民間の底力や地域の稼ぐ力の底上げにつなげるとともに、交流人口の拡大や地域資源の磨き上げ、多文化共生に対する理解促進、飛驒高山ブランドの共有などを進めることとで、地域活力を生み出し、観光を柱にした地域経済から、持続可能な地域づくりのために観光を活かすまちづくりが必要であると考えています。

さらに、令和7年に開催される大阪・関西万博では多などといった切実な声を耳にするようになってきました。市民生活を守りつと守りつつ、多くの観光客を迎え入れるため、どう折り合いをつけていくかが今後の重要な視点となつてきていると考えています。

また、長期化しているロシアによるウクライナ侵攻や中東での軍事衝突などによる物価上昇も社会経済、観光産業にも大きな影響を及ぼして来ています。議会としましても、変わりゆく社会情勢をしっかりと把握しながら、関係者の皆様の声をしっかりと伺いし、市の施策に活かしていかなければならぬと強く感じているところであります。

私たち高山市議会では昨年の改選により、6名の新人議員を迎えました。若い議員も当選されて年齢層も広がり、女性の議員も増えました。様々な立場、色々な考え方を持つ議員により活発な議論が行われ、多くの視点から議論の幅が広がっていくことは大変良い事でありです。そして、議員一人ひとりが不断の研鑽に努め、識見を高めるのはも

くの訪日外国人観光客の来訪により地域経済への大きな波及効果が期待される中で、大阪観光局との連携協定の締結や北陸新幹線の敦賀延伸、中部縦貫自動車道大野田坂道路の全通を見据えた福井県などとの連携強化にも取り組んでいるほか、松本市と取り組みを進めている世界水準のナショナルパークを目指す「松本高山Big Bridge構想」や高付加価値なインバウンド地域づくりを目指す「松本・高山高付加価値な観光地づくり推進協議会」での取り組みなども含め、今後、高山市が更なる国内外の注目を集めるエリアとなるものと確信しています。

全国的にオーバーツーリズムに対する懸念が広がる中で、市内においても様々な課題が表面化しつつありますが、引き続き市民の皆様のお声に真摯に耳を傾けつつ、持続可能な高山市の実現に向けて、貴協会と力を合わせ、一丸となって取り組む所存ですので、皆様の変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本年が、会員の皆様一人ひとりとって、実り多き素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

ちろんのこと、多様な視点をもって政策を判断していくことが重要であると捉えています。

市民の皆様意向をくみとり、市政に的確に反映させることができるよう、また、市民の皆様が身近に感じ、市民に開かれた参画しやすい市議会を目指してまいります。そして、市民の代表として、責任ある決定が行えるよう取り組んでまいりますので今後とも皆様方のお力添えを賜りますようお願いいたします。

今年辰年です。辰龍は十二支の中で唯一架空の生き物であり、神聖な力を持つとされており、辰年は変革や激動の年とも言われ、時代を切り拓く大きなチャンスがあるといわれています。変化のスピードが速く、10年先もわからない時代と言われていますが、新しい年が幸せと希望に満ちあふれた一年となりますとともに、関係者の皆様のご健勝を祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。

「新しい年を迎えて」

高山市議会議長 水門 義昭



あけましておめでとうございます。市民の皆様にはご家族お揃いで、ご健勝にて、穏やかに輝かしい新春をお迎えることとお慶び申し上げます。

長期間にわたり猛威を振るった新型コロナウイルス感染症も2類から5類に移行し、また、円安等の効果もあり、政府観光局の発表では、昨年10月の訪日外国人数はコロナ禍前の2019年を超えたとのことで、市内にも国内外から多くの観光客が訪れ、朝市や古い町並などで人で賑わう風景がみられています。

一方で観光客の増加による地元住民の生活や自然環境への影響、お客様に来ていただいても働き手が確保できない

観光地域づくり法人(DMO)

当協会は観光地づくり法人(DMO)として、平成29年11月28日に登録認定されました。

地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するため、その戦略を着実に実施するための調整機能を備えることが目的です。また、「持続可能な観光地域づくり」「観光地域全体のマネジメント」の観点での取組も必要であり、訪日外国人を含む旅行者への情報発信や安全・安心対策について、行政や地域などの関係者と連携を図ってまいります。

飛騨高山観光マーケティング委員会を設置

岐阜県観光連盟が運営管理する、宿泊データ分析システム導入(※)に伴い、各種データから読み取れる高山市の観光の動向を把握・分析し、飛騨高山への観光客誘致への基本的な戦略を組み立てるため、持続可能な観光地「飛騨高山」を目指す目的で、行政をはじめとする様々な観光関連団体で組織する委員会を設置しました。委員の任期は3年で、会議は年4〜5回程度開催し、次年度の観光戦略を組み立てるとともに、高山市に対する提言なども行ってまいります。

(※)宿泊データ分析システム

岐阜県観光連盟や飛騨高山旅館ホテル協同組合等と連携し、宿泊施設が保有する観光データを収集し、地域別宿泊者や地域全体の様々な観光データと合わせて分析します。また、宿泊施設独自の分析と業務の省力化や地域の傾向と比較することで、自社分析・エリア分析・競合地域分析・需要予測など強みや弱みを客観的に把握できるものです。

飛騨地域観光事業者向け

インバウンド相談会を実施しました

インバウンドの増加が見込まれる中、インバウンド受け入れのための基礎トレーニング相談会を、9月5日は宿泊事業者向け、9月6日は飲食事業者向けに実施しました。

講師には、全国通訳案内士で観光庁認定講師の白石実果氏(飛騨市在住)を招き、現場で蓄積されたインバウン



今後、機会をとらえて観光事業者向けの事業を進めてまいります。

誘客事業等

飛騨高山地域活性化観光リーフレット作成事業

高山市の各地域には、それぞれ多くの観光資源がありますが、その観光資源を再発見・掘り起こし、「各地域が主役」となるよう、10地域の観光リーフレットを作成しました。特徴は、イラストを多用し、細かな情報はQRコードから取得でき、各地域の皆さんが動画でも地域をPRしています。また、大きさはA3サイズを折り畳み、手のひらに収まるA6サイズにし、持ち運びやすく、10地域を色分けし親しみやすいデザインにしました。



誘客強化対策事業を昨年度に引き続き実施

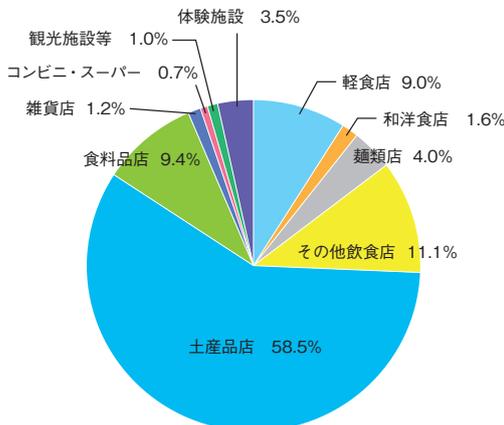
市内経済の向上に向けて市内消費喚起を図るり、持続可能な観光地づくりを見据え、次の2つの事業を継続実施しています。

①飛騨高山教育旅行クーポン事業

小中学校、高等学校、特別支援学校など(高山市内含む)が高山市内で宿泊を伴う教育旅行に対して、児童生徒及び引率する教職員に対し、一人当たり千円分のクーポン

ドゲストの本音や本当に喜ばれるおもてなしを共有する機会となりました。参加された方からは、「実用的に役立つ内容が満載であった」「海外のゲスト達のリアルな感想、特に不満な点を知れたのはとても良かった」「ガイドさん目線ならでは、細かな視点を知ることができて、非常に勉強になった」など参加して良かったという意見が多く寄せられました。

クーポン利用店割合



区分	人数	件数	件数割合
小学校	317	5	7.3%
中学校	7,969	57	82.6%
高等学校	1,003	6	8.7%
特別支援学校など	18	1	1.4%
合計	9,307	69	100.0%

方面	人数	件数	件数割合
関東	2,347	16	23.2%
東海	2,699	25	36.3%
関西	3,873	26	37.7%
中国・四国	189	1	1.4%
九州	199	1	1.4%
合計	9,307	69	100.0%

(令和5年12月1日受付分)



を配布しています。高山市内におけるクーポンの取扱い加盟店(観光施設、飲食店、土産品店等)で新たに参加希望される店舗は当協会までご連絡ください。

② 高山市体験プログラム利用促進事業
わくわく体験！飛騨高山
(事業概要)

国内利用率No.1のオンライン体験予約サイトで、国内認知度が高い「じゃらん 遊び・体験」を活用し、オンラインクーポンを発行しています。

1 予約当たりのクーポンの割引額は次の通りです。
1,000円以上の体験プログラムの場合500円分
2,000円以上の体験プログラムの場合1,000円分
3,000円以上の体験プログラムの場合1,500円分
5,000円以上の体験プログラムの場合2,500円分
主な体験プログラムメニューは、郷土料理づくり、陶芸、食品サンプル作り、さるぼぼ作り、組紐づくり、スノーシューツアーなどです。

クーポンは、QRコード、または、じゃらんnetから「ふるさとキャンペーン」お得クーポンで旅にしよう！
「遊び・体験の特集とクーポンを探す」を順番に選択し、飛騨高山のPR画面から取得します。



観光庁の補助採択事業

1. 国重要文化財を有する「飛騨の里」貸切による特別な体験イベントの開催及び「もうひとつの飛騨高山」高付加価値コンテンツ開発・実証事業

インバウンドの本格的な回復に向けて、飛騨高山の自然・文化・食等を活用し、2つの特別な体験コンテンツの創出等の観光再始動事業を実施しています。



① 事業名：国重要文化財を有する「飛騨の里」貸切による特別な体験イベント

飛騨の里を特別に夜間貸し切り、園内をライトアップで彩るとともに、旧前田家において、料亭洲さきの江戸時代から守られている宗和流本膳くずしの料理と地酒のペアリング体験を提供するナイトイベントを開催しました。

この事業は高付加価値のある特別な実証事業として、インターネットで取引する旅行会社(OTA)を通じて海外に20名限定で募集し、モニターも含めて16名が参加しました。

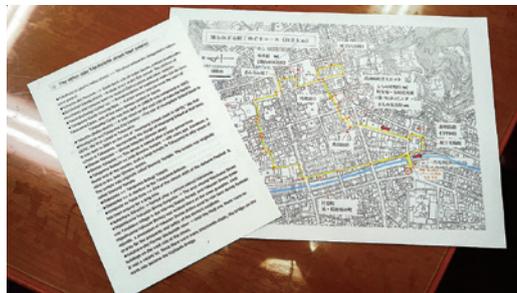
(実施日時)令和5年10月19日(木)
(参加者国籍)アメリカ3名、カナダ1名、オーストラリア1名、イギリス1名、イタリア2名、香港1名、マレーシア1名、コロンビア1名、日本5名(通訳含む)

ナイトイベントは、篠笛の演奏で、厳かに始まりました。進行はすべて英語で行われ、一の膳から三の膳まで料理の説明に合わせて順次配膳され、それぞれの料理に合わせた地酒を楽しんでいただきました。高山の宴席での習わしである座付きの披露や、童心飛騨高山太鼓団による和太鼓演奏のほか、囲炉裏で醤油餅を食べていただくなど特別なある飛騨高山の夜を堪能していただきました。今後は、特別感を味わっていただく付加価値のあるコンテンツの造成につながるよう、インバウンドを取り扱う旅行会社などへの情報提供を行ってまいります。

② もうひとつの飛騨高山

「旧街道等を活用した新たな周遊コンテンツ制作」

江名子川周辺や東山寺町、旧越中街道や城下町全体の魅力を「知られざる横丁めぐりコース(約2km)」「お堀と東山を巡るノスタルジックコース(約3km)」「高山城跡を目指せコース(約3km)」の3つの散策コースを設定し、地域の歴史研究家(学芸員)の協力も得て、歴史的事実を踏まえ、英語でのストーリー性のあるコースをつくるものです。



実際に外国人のモニターの方に散策コースを歩いていただき意見聴取しほか、地域通訳案内士の方に参加いただき、インバウンド対応のガイド研修を行い、ガイド事業の高付加価値化を図るとともに、観光客の分散化と新たな魅力の発信を図り商品造成を行うものです。今後は支所地域も含めて新たな散策コースの設定も研究し、外国人観光客のリーダーや連泊の滞在者に向け、日本一広い飛騨高山のもうひとつの魅力や奥深さを発信していきます。

2. 持続可能な観光推進モデル事業

市民(地域)の方には住みやすさや旅行者歓迎度など、観光事業者などの方には事業の継続性や仕事の満足度など、旅行者には高山の魅力や観光へのニーズ、来訪満足度など、10月から12月にかけてWEBを活用したアンケートや実態調査を行い、持続可能な観光地づくりのた

めの指標や目標等を設定するものです。本事業で得られた成果は、観光に係る計画を策定する際の基礎資料として活用してまいります。

コンベンション事業

コンベンション事業部では、飛騨地域(高山市、飛騨市、白川村)に国際的・全国的な会議・大会・学会等やスポーツ大会を誘致し、地域経済への波及効果が高いコンベンションの誘致を行っています。

支援等の件数は、コロナ前には回復していませんが、12月現在で、国内の会議・学会等が17件、スポーツ大会が22件、国際会議が1件で、合計40件です。参加者総数は約4万人で、昨年の同時期と比較すると約1割増となっています。今後、スキー大会なども開催されるため、主催者団体の支援を進めてまいります。

また、令和6年には、毎年6月に開催されている8000人規模のドッジボール大会のほか、8月には6000人規模の教育関係の研修大会や、9月には2千人規模の日本外来小児科学会年次集会の開催も決定しております。

誘致活動については、オンライン参加と現地参加を併合したハイブリッド型の誘致会議や、現地参加のリアル型の誘致会議なども増えつつあるため、効果が期待できる誘致会議を選択し、飛騨地域でのコンベンション開催促進にあわせて観光客増加に向けた取り組みを進めてまいります。

会議では、令和5年9月下旬に、静岡県沼津市で開催



された「令和5年度中部コンベンション連絡協議会(岐阜県、愛知県、三重県、静岡県、長野県、石川県、新潟県内にあるMICE誘致団体で構成)」に出席したほか、令和5年12月21日には、オンラインで「第1回MICE FUTURE LABO」に参加し、地方都市コンベンションのMICE誘致の方向性について意見交換しました。また、令和6年2月中旬には、東京で開催される「国際MICEエキスポ(I-ME2024)」にブース出展し、コンベンションの主催団体との商談会や首都圏域へのプロモーションを進めてまいります。



令和六年は金森長近公生誕五〇〇年

〈金森長近の生涯〉

金森氏初代・可近(後の長近)は大永4年(1524)に生まれ、令和6年(2024)は誕生後500年にあたります。長近はどんな生涯を送ったのでしょうか。



金森長近肖像

金森氏は多治見に居を構えていましたが、後に一家で近江国金ヶ森(滋賀県守山市金森)に移って「金森姓」を名乗るようになりました。長近は天文10年(1541)、18歳で織田信長に仕え、母衣武者(側近)として各地で戦い、32歳の時には信長の1字をもらって長近と改名しています。各地の戦いで手柄を立てた長近は、信長から越前大野(福井県大野市)の国を拝領しました。

天正13年(1585)、長近は豊臣秀吉の命令で飛騨の

三木氏を攻め、その後飛騨を支配することになりました。翌年8月7日、長近は飛騨国3万8千石の国主(大名)として飛騨に入っています。また、慶長5年(1600)、関ヶ原の戦いでは徳川家康方について前戦で戦い、美濃国上有知(美濃市)1万8千石、河内国金田(大阪府堺市北区金岡町)3千石を増やしてもらい、小倉山城(おぐらやまじょう・美濃市)を築いて、その城主になりました。高山城は第2代可重に任せています。長近は慶長13年(1608)8月12日に亡くなりました。

〈飛騨の国をどのように豊かにしたか〉

金森氏の飛騨における山林支配は重要な産業で、たくさん収入がありました。また商業の発展、鉱山の発見と開発なども、金森長近の重要な仕事でした。

慶長5年(1600)の関ヶ原の合戦の時、長近は3万8千石の大名でしたが、倍近くの6万石並みの大名と同じ数の兵隊を出すことができたといえます。それは豊かな山林と鉱山を持っていたからでした。

金森氏は、飛騨の山林はすべて国主である金森氏のものという考えでした。そのため百姓や杣頭(監督)に、金銀や食糧を事前に与え、材木を伐り出させています。商人がそれらの仕事を請け負う場合は、商人自らが材木を伐採し、川に材木を流す時に役人が立ち会いの上、代金を支払います。明暦3年(1657)の江戸大火の時には、第4代 金森頼直が幕府にヒノキの角材(柱にする材)千本を献上しています。

〈生誕500年記念事業〉

長近公生誕500年の節目に、一般財団法人金森公顕彰会ではさまざまな事業を計画しております。金森氏に関わる冊子作成、講演会、高山城復元の啓発、茶会、命日法要など令和6年度に順次実施してゆきます。



金森長近公銅像 (城山公園二之丸)

連載 飛驒の交通 〔二十六〕

江戸街道改修功労者 渚村市蔵

久々野村渚の百姓(二男)に市蔵という人がいました。農業のかたわら、荷物の運搬などもしていましたが天明8年(1788)、高山に出て(当初七日町、後、一之町)茶や煙草の行商を始めています。文化11年(1814)に店を開き、娘に婿・弥吉を迎えて店を任せています。

江戸に通ずる街道の本道は朝日町黍生谷(きびゆうだに)から高根町猪之鼻峠(鳥屋峠)を越え、猪之鼻部落から高根町中之宿に至るのが道筋でしたが、朝日町小瀬ヶ洞から権現峠を通って高根町中洞に出てそれから中之宿に至る道筋が3.5kmほど近いので近道として重宝されていました。

市蔵は高根村方面へ行商に行くときこの近道を利用しましたが、中洞から中之宿を通る道の狭さに難儀していました。この難所は牛・馬も通らず、保木場(歩危)と言って大変危ない所です。ここを通るには足を一歩ずつ岩にかけ、縄や藤づるなどを岩角に結び、それにすがって通るくらいの難所でした。

市蔵はこの難所を改修したいと婿や家族に相談。反対されましたが市蔵の気持ちは変らず婿らを説きふせ、さらに地元の中洞・中之宿の村役人にもこの改修への了解を得ました。

早速、市蔵は岩掘道具を揃え、来る日も来る日も、ただひとりコツンコツンと岩を切り、割り石を積むなどして道を作っていました。しかし難工事で順調には進まず、足を踏みすべらせて谷底へ落ちたり、事故は絶えませんでした。そんな時でも、旅人や村人の喜ぶ姿を眼に浮べながら、ただ神仏を信じ、信念を貫き通したのです。

そのうち村の人々も手を貸してくれるようになり、市蔵の婿も行商の合間を利用して2日、3日と工事現場に泊まって手伝ったり、食事の材料を運んだりして市蔵をよく助けました。

文政9年(1826)に着工した中洞から中之宿までの難路「地蔵尾上道・下夕道」大改修は、文政11年(1828)、ついに完成しました。岩切通しが2か所で27m、岩切割が15か所で315m、その他7か所で481m、総計長さ823m程の大工事でした。

村の名主や組頭、百姓代らは工事が完成するやそのお祝いに金を与え、飛驒郡代芝与市右衛門正盛にこの善行を報告しています。郡代は市蔵のこの善行に心をうたれ、幕府へ褒美の沙汰を上申、市蔵に銀5枚、婿の弥吉へ銀2枚を与えました。

工事をする者はあるまいといひ岩削り工事をするつもりもなく、特別困りながらも打ち捨て置いた地蔵、市蔵一人て工事をしてくれましたので、工事中に中洞村・中之宿村から、人足百人程も差出し、又村方の者が時々汁の突をやり、工事を完了の祝儀として、左衛門太郎から金二朱、中洞村頭百姓六藏から金二朱、往來の者の志として錢二貫三八文を受けた外は、市蔵は寄附奉加等することなく、直ぐ同様の道完成し、人・牛・馬は勿論、どの様な荷物でも、年中差

柴郡代から幕府へ上申した調書「高根村史」

連載 飛驒の歴史人物史 〔九十九〕

早船ちよの文学

昔、吉永小百合主演の映画「キューポラのある街」(昭和37年・日活株式会社)を見たことがあります。原作が早船ちよ氏だと知ったのは、ずいぶん後からです。江戸時代から鑄物の町川口市が舞台で、鑄物職人の娘ジュン(吉永小百合)が主人公です。最近早船の文学を知ろうと、もう一度鑑賞しましたが新鮮な感覚で拝見しました。父(東野英次郎)が鑄物工場を解雇されて貧しくなつて家庭が荒れ、当時における社会問題に向き合う若いジュンの姿がすがすがしく感じられる映画でした。この映画で吉永はブルー・リボン主演女優賞を受け、以後大スターへと躍進したのです。同時に早船の小説家としての名声も高まり、早船文学小説が発刊されるようになりました。

高山を知る事ができる注目すべき早船の文学作品に、「自伝的随想集」ふるさと飛驒」があります飛驒の風土と生活、風習などが記され、昭和中期に早船が経験した飛驒の民俗的事象の詳細が知られます。「地平線の無い風景」「祭り料理(角正)」「正月の花モチ」「曲木椅子のシルエット(飛驒産業)」「あ、あ野麦峠」評など、興味ある随想が掲載されています。「二つの湖」では琵琶湖畔の東洋レイヨン入社(16歳)、諏訪湖畔のマル六片倉製糸入社(17歳)のことが記され、『峠』『湖』『街』の三部作にその足跡が込められています。

また、「暮れから正月」では年取りのごっつおの献立が書かれています。厚く切ったブリの塩焼き、かしわの吸物、田作りのつくだ煮、鮭と大根の膾(なます)、きりこんぶ、黒豆、きんぴらごぼう、粟(なつめ)の甘露煮と豪華です。早船の実家・住田家は文政3年から昭和5年までの16年、高山の有楽町で小料理、寿司屋を営んでいたが、家族のための食膳は年取りの晩だけで、場所は仏間であったと記しています。高山の伝統的な年取り行事がわかりました。

〈早船ちよの年譜〉

- 大正3年 飛驒市古川町三之町、住田家の長女として生まれる
- 大正10年 高山尋常高等小学校(南小・名田町時代)に入学
- 昭和4年 全国雑誌に童話掲載
- 昭和9年 井野川潔(本名早船斌男)と結婚
- 昭和34年 「キューポラのある街」を「母と子」に連載
- 昭和37年 「キューポラのある街」日活で映画化
- 昭和45年 『ふるさと飛驒』発行
- 平成元年 飛驒民俗村 文学散歩道に文章碑建立
- 平成17年 神奈川県湯河原にて逝去



奥飛騨冬物語

(天候等で日程が変更する場合があります)

～北アルプスと露天風呂の里～

奥飛騨温泉郷は、平湯、福地、新平湯、栃尾、新穂高と趣の異なる5つの温泉地の総称です。各温泉地で冬しか味わえない魅力ある体験を楽しんでみてはいかがでしょうか。

●平湯温泉

平湯大滝結氷まつり

- ・冬の寒さで巨大な水柱に姿を変える「平湯大滝」をライトアップ。
- ・高さ64mもの水柱は印象深く、そのスケールの大きさに圧倒。
- ・会期：2月15日(木)～2月25日(日)
- ・場所：平湯温泉・平湯大滝周辺
- ・ライトアップ：19時～21時



●福地温泉

福地温泉・青だるライトアップ

- ・福地温泉の山奥に現存する、青い水の柱「青だる」を温泉街に再現。透き通るような青色が美しく、夜はライトアップで幻想的な雰囲気に。
- ・会期：12月24日(日)～3月下旬
- ・場所：「福地温泉」バス停付近
- ・ライトアップ：17時～22時



期間中の特別イベント

- ・青だる水の散歩道(青だる裏側)ライトアップ
- ・会期：2月3日(土)～2月13日(火) 19時30分～21時
- ・郷土芸能「へんべとり」の実演
- ・会期：2月9日(金)～2月11日(日) 20時30分～



●新平湯温泉

タルマかねこおりライトアップ

- ・凍てついた「たるまの滝」を幻想的にライトアップ。
- ・また、数万個のLED電球に装飾された光の砂防トンネルはインスタスポットとして人気。
- ・会期：12月28日(木)～2月29日(木)
- ・場所：タルマの滝・親水公園一帯
- ・ライトアップ：17時～21時30分



●新穂高温泉

中尾かまくらまつり

- ・満天の星の下に、大小多彩な「かまくら」が登場。ほのかな灯りに浮かび上がる雪国情緒をお楽しみください。
- ・会期：2月1日(木)～2月10日(土)
- ・場所：中尾高原 白山神社境内
- ・開催時間：20時～21時、土曜日のみ～21時30分



期間中の特別イベント

- ・獅子舞
- ・会期：2月1日(木)、3日(土)、10日(土)
- (注)駐車場が狭いためご注意ください。



●新穂高ロープウェイ

日本で唯一の2階建てロープウェイで標高2,156mの厳冬の世界を体験してみませんか。



(新穂高ロープウェイ ☎0578-89-2252)

(お問い合わせ先) 奥飛騨温泉郷観光協会 ☎0578-89-2614

イベント情報

〈天候等で日程が変更する場合があります〉

【第10回飛驒高山フォトコンテスト募集中】

歴史・伝統文化、自然、景観、イベント風景など飛驒高山の魅力を日本全国、海外に発信できる写真を募集します。お一人様3作品まで応募可能で、10周年特別賞1点(賞金5万円)のほか高山市長賞、高山商工会議所会頭賞などが選出されます。詳しくは当協会にお問い合わせください。

テーマ わたしの好きな飛驒高山

応募締切 令和6年1月31日(水) 消印有効

【冬の飛驒高山ライトアップ】

期 間 令和5年12月1日(金)～
令和6年3月3日(日)

場 所 中橋周辺

時 間 午後4時30分～午後9時30分



【氷点下の森 ライトアップ】

期 間 令和6年1月1日(月)～2月29日(木)

場 所 秋神温泉旅館・朝日町胡桃島

時 間 日没～午後9時

☎05777561021



【飛驒大鍾乳洞 氷の渓谷】

期 間 令和6年1月1日(月)～3月10日(日)

場 所 丹生川町日面

時 間 午前9時～午後4時

※2月の毎週土曜日は日没から午後8時までライトアップの演出あり

☎0577792211



【氷と灯りの祭典2024】

期 間 令和6年1月12日(金)～14日(日)

場 所 飛驒・世界生活文化センター

時 間 午前9時～午後9時
(12日は午後5時)

千島町 ☎05777376111



【飛驒の里 冬のライトアップ】

期 間 令和6年1月11日(木)～2月29日(木)

場 所 上岡本町1

時 間 午後5時30分～午後7時30分

入 場 料 大人300円・小人100円

☎05777344711



【第26回飛驒高山雛まつり】

期 間 令和6年3月1日(金)～4月3日(木)

場 所 高山市内各所

展 示 内 容 土雛、古今雛、京保雛、江戸時代の御殿飾り、まゆびな等代々伝わるものや、愛らしいお雛様が多数展示されます。



【第26回飛驒高山端午の節句】

期 間 令和6年5月1日(水)～6月5日(水)

場 所 高山市内各所

展 示 内 容 紙で作られた大きな鯉のぼりや、さまざまな五月人形などが展示されます。



【第5回飛驒高山・酒蔵のん兵衛まつり】

期 間 令和6年6月頃予定

場 所 参加酒蔵 原田酒造場、老田酒造店、二木酒造、平瀬酒造店、船坂酒造店、平田酒造場

